

選択A：歴史

【時間・コマ数】

週2日 全32コマ（1コマ50分）

【クラス人数・クラス数】

6人～10人×1～2クラス

【到達目標】

- ・歴史学を専門とする大学院生が、今後、研究者として、日本語を使って研究活動ができるような日本語能力を身につけること。
 - ・すなわち、以下のような能力を身につけること。
- 必要な史料・論文を探して入手でき、それらを読みこなせる。
- 各種の学会・研究会・シンポジウム・大学のゼミ等に参加して、日本語の講演・発表を聞いたり、あるいは自ら発表できる、質疑応答や討論に参加できる、日本人研究者と交流がはかれる、等。

【授業概要】

学生の専門、研究テーマに合わせて、一次史料、および専門書・学術雑誌・論文の読解を中心に、発表、ディスカッションなども行う。

また、図書館、資料館を訪問し、資料の探し方なども経験する。

【授業テーマ・内容】

第1週：各学生の研究テーマ発表

第2週：「教育勅語」原文、田中彰「教育勅語とはなにか」

第3週以降：各学生の研究テーマに合わせた一次史料及び学術書・論文の読解、ディスカッション等を行う。

4学期には各学生が自分のテーマで授業（1日・2コマ）を企画する。

教材例（昨年度実績）

伊藤之雄『伊藤博文をめぐる日韓関係』

大門正克『語る歴史、聞く歴史』

古川隆久『建国神話の社会史』

佐藤道信『＜日本美術＞の誕生』

飯島虚心『葛飾北斎伝』

池田忍『日本絵画の女性像』
関秀夫『博物館の誕生』
米原正義『戦国武将と茶の湯』
『米欧回覧実記』『古事記』『源氏物語』『平家物語』
辰野金吾演説原稿、渋沢栄一演説、禁教令
教科書『民主主義』
大川周明『米英東亜侵略史』
ラスビハリ・ボース『インドの叫び』
書評 等

校外学習：横浜中央図書館、国会図書館、国立公文書館、等を訪問（予定）。
各自の資料検索。

以上